第８回人吉市立学校のあり方検討委員会会議録

日時：令和８年１０月２２日（木）午後２時３０分～
会場：人吉市役所３階　３０１・３０２会議室

～　次　　第　～

１　開会

２　委員長あいさつ

３　人吉市教育委員会あいさつ

４　議事
（１）「未就学児の保護者意見交換会」での意見等の報告

（２）人吉市立「小学校」の今後の方向性についての検討

５　本日の総括（委員長）

６　その他
（１）次回開催日（予定）　令和８年１２月２１日（月）午後２時００分～
保健センター２階大会議室

７　閉　会

＜　　午後２時３０分　開会　　＞

１　開会

杉本　　係長　人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例施行規則第５条第２項により、委員の過半数の出席をいただいているため、本会は成立することを宣言します。

ただいまより、第８回人吉市立学校のあり方検討委員会を始めます。どうぞよろしくお願いします。

２　委員長あいさつ

八幡　委員長　１０月は本日で２回目の会議ということで、皆様には大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。随分朝晩は涼しくなり、台風も今年は多く発生して今後の進路も気になるところです。本日はこれまでの検討委員会で最も難しい小学校における適正規模をどのように考えるかということが議題に上がっています。未就学児の保護者の意見交換会を実施していただき、その報告もふまえながら、本日の議論が深まるといいなと思っているところです。本日も忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

３　人吉市教育委員会あいさつ

志波　教育長　皆様ご多用の中に第８回の検討委員会にご出席いただきましてありがとうございます。台風３０号の進路が気になるところです。今週の日曜日、学校関係では中原小学校の運動会が予定されており、日曜、月曜と人吉東小学校が長崎に向けて修学旅行が予定されています。犬童球渓音楽祭の個人コンクールの本選も予定されており、審査員の方々がお見えになることができるかと気をもんでいるところです。

昨日、１９時から未就学児の保護者向けの意見交換会を開催いたしました。限られた時間ではありましたが、本当にいろいろなお尋ねやご意見をいただき、改めて子どもの教育、人吉市の教育についてしっかりと考えていただいていることを強く感じました。後ほど報告いたします。本日も限られた時間ではありますが、ご協議、よろしくお願いいたします。

４　議事

杉本　　係長　それでは議事に入ります。ここからは、人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例第３条第２項により、八幡委員長に議長を務めていただきます。議事の進行をお願いします。

八幡　委員長　議事に入ります。（１）「未就学児の保護者意見交換会」での意見等の報告について。この資料を先週いただいた時にはもうこの議題にあったので、かなり前に意見交

換会が行われたと思っていたのですが、教育長のお話ではつい昨日だったとのことで、さっそくここまでの資料をご準備いただき、お手間を要した方々には本当に御礼申し上げます。事務局から説明をお願います。

（１）「未就学児の保護者意見交換会」での意見等の報告

鵜口学教課長　≪別紙資料より説明≫

・実際に参加した委員より補足・感想

委　　員　本当に有意義な時間だったと思います。参加された保護者から今朝話を聞いてみたら、「いろんな情報を飲み込むのに精いっぱいで発言はできなかったけども、説明を聞く機会がもっとあればいいな」とおっしゃっていたので、これからもいろんな機会に聞いていけたらいいですね、と話をしました。教育委員会が特別支援クラスの話を幼稚園や保育園で話すように、総会の時などに抱き合わせで話をしていただき、聞く機会がもっと増えるといいなとおっしゃっていました。

委　　員　昨日はありがとうございました。しかもさっそくこれだけの資料にまとめていただき、頭が下がります。うちの園からは保護者が２名参加しており、私も今朝その方と話したのですが、自分達の熱量はあり方検討委員会や教育委員会ではなく市長に伝えないといけないんでしょうか、と言われました。市長と話す機会はあるんですか、と聞かれたのですが、教育委員会と市の行政は役割が違うような気がしたので、それは違うのでは、と話しました。ただもっといろんな人の話を聞かないといけないと思う、と。その２名は人吉市出身ではない保護者で、人吉東小や東間小が大きいと思っていたけれども、ほぼ全部の学校が数年で１学年１クラスになるということを知ってすごく衝撃を受けており、それなら人吉には住まないかもということも少し言っていました。人吉には気に入って住んでらっしゃるので、そういったところも思い切ってしないといけないのかな。ただもっと他の保護者の考えも聞く機会、集約する機会をできるだけ早く複数回あった方がいいのではないかという意見を伝えてくれと言われてきました。

委　　員　結構考えをまとめて話されている方が多かったなという印象で、質問もありましたが、共通していると思ったのは子ども達の育ちがどうなるか、教育はどうなるのか、自分の子ども達はどうなるのか、よりよくなるのか、という部分だった気がします。小規模校と大規模校、それぞれのメリット・デメリットがある中で、結局我が子の育ちにとってどのくらいの規模で、こんな関わりができる学校であってほしい、という質問や意見が多かったと思います。私も出席して、中身の部分のところは次の機会でということで今日は取り扱わないと委員会側から言われたのですが、保護者の皆様からすると結局子どもの育ちはどうなるの、というところを起点にして大規模校や小規模校の話がスタートするんだなというところが明確にわかりました。保護者の皆さんの声ですが、ここで話さないでどこで話すのか、と。そういうふうに進めるのであればそれでいいのですが、ただ保護者からするとそこが一番大事なのではないかと思い

ます。そこからスタートして学校の数や規模についての意見が求められるのであればいいのですが、まず将来、例えば小学校が２校になるとして、その規模になった時に、どんどん小規模になって困っていくだろうマイナス部分としてこういうところがあります、先生方についても加配の数など、何がどうなるのかが見えた方がいいのかなと。

あと、私は就学前の方で選ばれてきていますが、就学前と小学校がつながっている、小学校と中学校には同じような課題があるとは思うのですが、トータルの育ちの中で保護者と接していくという考え方が今は普通になってきているので、それぞれ対応する場合のキーマン的な役割が統合されていけば、より一層小中学校の学校機能に期待が大きくなるし、そうなっていくだろうと感じてはいるのですが、そういう部分がどうなっていくのか見えない中で、中身は後ですよと言われると、見えないので何も言いようがなくて発言せずに終わってしまいます。私がこの場に参加している理由はその辺だと思うので、現場ではこうですよ、こういった課題を感じていますよ、という話はできるので、もっと聞いてくださいというか、そういった話題になればお話しできますよとお伝えしておきます。

八幡　委員長　昨日の未就学児の保護者向け意見交換会には２０名の参加があったとのことですが、こうした問題に関心が高い保護者の方が集まってくださり、長いスパンを見越して、これからの人吉市の教育のあり方について率直なご意見を上げていただいたと思います。子ども達のためにできることは何でもやりたい、特に教育の質、学校環境に関する率直な意見をまとめていただいているなと思いました。こうした意見を踏まえて、この委員会でも最善の、よりよい学校のあり方について審議を進めていきたいと思いました。保護者の皆様にも子ども達の教育環境や学校のあり方を考える時期として、こういった検討や審議が進められている今、ご意見やご要望を出していただくのは非常にいい機会かもしれません。ぜひ声を寄せていただいて、人吉市の教育をよりよくしていくために、保護者の皆様の率直な意見をさらに高めていただければ非常にありがたいなと思いながら、資料を読ませていただき意見を伺いました。

委　　員　形や中身についてはこの会議ではなく次の段階で、と事務局から話がある一方、保護者から具体的な話を伺ってくるのがいいという話もあり、どちらで進めばいいのかがわからないのですが。保護者の希望をたくさん聞くのはいいのですが、保護者の希望をたくさん聞いた時に、園の立場から、園としてこういう要望もありますよね、という話をすることになると思うのですが、そちらは特に。

八幡　委員長　今日はこの後小学校の方向性を決めていきますが、保護者の皆様からの意見、本日上げていただいたような意見で反映させられるものは反映させていきたいという思いでいます。おそらく事務局もそうではないかなと思います。すり合わせられるところはすり合わせて進めていきたいと思っていますが、前回は中学校の方向性、本日は小学校というこれからの検討の中で議論していただいた意見を反映できることは反映し

ていきたいと思っています。

委　　員　　私の立場からすると、この席にも予算が伴うことでもあるし、例えば小学校２校である場合、人吉市内に園が今１４園あるので、簡単に考えると１校あたり７園、という話になった時にそこのつなぎはどうなるのか、細かい話ですが、それをどのようによりいいものにするかという時にどの規模がいいかということにつながっていくのではないかと思います。ただ今までそういった話が出てきていません。どの場でこういった話をすればいいのかがわからなくて。当然予算があり規模があり、予算を最大限に活かすためにどういった使い方をしていったらいいのか、どのように園が変わった方がいいのか、どのように学校側とつながっていけばいいのかというところが一番わかるところなのですが、そういったことは今は話さなくていいのでしょうか。

八幡　委員長　　私の理解では、あり方検討委員会ではこれからの人吉市の教育のよりよいあり方を検討することが目標なので、まずはそれを審議して、それで予算が取れるかどうかといったところはそのあとの話だと思います。

委　　員　　はい、最大限に活かせる形がどの規模なのかというところです。予算ありきではないですが、予算がなければ理想を語るだけで終わってしまうので、それで大丈夫なのかな、と思います。理想を言えばきりがないです。そこらへんがすごく答えにくいなと感じているところで。理想を語るだけならいくらでも話せるのですが。

田中　　部長　　委員がおっしゃっていることは、検討委員会で答申がなされて方針が決まって、仮に小学校を何校かにする、という話になった時に準備委員会のようなものを立ち上げて、具体的な話をしていくことになるのはそこからではないかと感じています。なので、今委員が話された懸念は準備委員会の中にいろんな部会を作って一つ一つ解決していく作業になると思います。昨日の就学前の保護者向け意見交換会で教育長から「学校を統合するという話になっても少し時間がかかりますよね」と話があったと思いますが、その時間が必要だということになります。

委　　員　　はい、そのように理解はしているのですが、保護者の方々から出てくる意見は中身についての話、つまり準備委員会段階での意見が多いので。それまでのそもそものあり方を聞きたいのであればこの意見の中にはあまり入ってなかったのかなと、ちょっとずれていたのかなと感じているので、どっちがいいのかなと思いました。

八幡　委員長　　そのような揺れ感も感じておられるということですけれども、これから子ども達を小中学校に送り出そうとしている保護者が感じている意見を、私の思いとしては可能な限りこれからの人吉市の学校のあり方、答申の内容に反映させられるものは反映させていきたいという思いでおります。

安達副委員長　　この資料を見て、この１枚の中に未就学児の保護者の、自分の子どもが学校に上がる時にどうなるんだと感じた本当に切実な思いをいろいろと出していただいたのではないかと思いました。その中で、質問の中にも具体的な、準備委員会に係わるような内容もたくさん思っていることがあると思います。それだけ関心を寄せていただいているということは本当にありがたいことだなと思います。特にびっくりしたのは、主

な意見としてほとんどの方が統廃合は必要ではないかと、子ども達は大人数の中で切磋琢磨しながら生活していく方がいいと思っているという気持ちが表れていたので、そのような方向に私達も考えていっていいのかなと思いました。

（２）人吉市立「小学校」の今後の方向性についての検討

新宮　審議員　≪資料Ｐ１～６より説明≫

八幡　委員長　最初に説明があった学校選択制と不登校特例校に関しては、今年７月に実施された第５回の検討委員会で議題に上がっていたのですが、その時には委員の皆様から特に積極的な意見はなかったということで、学校選択制の導入および不登校特例校の設置は見送るという方針で確認しています。よろしいでしょうか。はい。

他にご意見・ご質問がなければ、事務局から５つのパターンを資料に示してありますが、具体的にどのパターンがいいという意見、あるいはこんな再編のパターンがいい、というご意見をお受けしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

＜　資料Ｐ５～７より（・以下は各概要を抜粋）＞

〇小学校の再編・統廃合の検討

パターンＡ：【対象校のみ近隣校へ統合（１校減・５校体制)】

・複式学級が発生している大畑小学校を、東間小学校へ統合する。

パターンＢ：【段階的統合①（猶予期間の設置)】

・原則としてパターンＡを目指すが、猶予期間（〇年間）を設ける。その間に児童数が一定規模を下回った場合に自動的に統合へ移行する。

パターンＣ：【段階的統合②（分校化)】

・低学年は現在の学校（通い慣れた地元の校舎）に通学し、中学年以降から統合校へ移行する。

パターンＤ：【市全体を見据えた複数校のブロック再編】

・将来的に小規模化が見込まれる学校を含めて、市内をブロックに分けて再編する。

パターンＥ：【完全現状維持または猶予期間の設置】

・６校すべてをそのまま存続させる。将来的にはパターンＤを目指すが、猶予期間（〇年間）を設ける。

委　　員　三中ＰＴＡからです。人数だけ見るとこの５パターンしか出て来ないと思うのですが、どれにしても移行には時間がかかると思います。これは答えが出たら一気に、例えば来年２月に答申が出たら４月から検討を始めて、次の年には合併を目指すという案がパターンＡ【対象校のみ近隣校へ統合（１校減・５校体制)】になるのかな、と私は解釈しているのですが、早急にやるからには同時にやらないといけないことがたくさん出てくると思うし、それだと置いてきぼりになる保護者がたくさん出ると思います。大畑小・三中校区の人数自体は多くありませんが、そこに対して、あと入学予定

	のところにもすごく丁寧に説明していく必要があると思います。結局はいつを目指してやるのかが、この検討委員会では出ないですよね。例えば１０年後を目指すということでパターンを示して、１０年後に合併、なら５年後は段階的に、という話ができない状況を私としては危惧しています。大畑小は令和１２年に完全に複式になるけどそれはいったん据え置いて、という話の方がスムーズかな。完全に複式になるのであれば複式になった時に統廃合の話をする、東間小と一緒になる、そこからさらに進むと他の学校もクラスが減っていくので、西瀬小が複式学級になるとなった時は中原小と一緒になる、と段階的に進めていく方がスムーズかなと思っています。ここで統廃合します、やりますと言っても結局学校を建てる期間、設計１年、建築に２年と言われていたので、それを考えると、私は段階的なパターンしか選べないと思っています。パターンＥ【完全現状維持または猶予期間の設置】にしておいて、５年後はパターンＢ【段階的統合①（猶予期間の設置)】、次はパターンＣ【段階的統合②（分校化)】という形でいくとしか答申としては上げられないと思います。パターンに当てはめるとするとですね。段階的に進めます、としか言えないのでは。ただ、大畑小だけ合併するのであれば早急に説明が必要だと思います。保護者にも、中学校もそれをするのかどうか、それは答申が上がってからの動きになるので、来年選挙があるし、市長も考えが変わったらどうなるのかなと思ったところではあるのですが。
委　　員	大畑小ＰＴＡです。現在複式学級は始まっており、例えば来年から統合するとなった場合、２・３年生のカリキュラムが他の学年ごとのクラスと全然違うと思います。２年生と３年生が一緒のクラスで学んでいるので、そこのすり合わせがうまくいくのかなという心配が保護者の中で出てくると思います。その場合、複式だけども学習状況を合わせるために人員を入れたりして他の学校と同じような学習をしないと統合しても勉強についていけない子が多くなると思います。その辺はいかがでしょうか。
八幡　委員長	一つの学校再編・統合に関するロードマップ、パターンＡ【対象校のみ近隣校へ統合（１校減・５校体制)】とパターンＢ【段階的統合①（猶予期間の設置)】に関する意見だったと思うのですが、猶予期間がどれくらいなのかというスケジュール感をもうちょっと把握したいということ、それと関連して複式学級を解除するまでの配慮について対応してもらえるのか、という質問だったかと思います。そのあたりはいかがでしょうか。
志波　教育長	例えば、今、大畑小学校の２・３年生が複式学級ですが、来年大畑小学校を東間小学校に統合するということはできません。なぜかというと、教員の人事異動、どうやって子ども達を通学させるのかなど、学校のいろんな準備があるので、「来年一緒にします」のようにそのような短期間ではできません。なので、「複式学級を解消するために学校を統廃合していきましょう」という話ではないと思っています。子ども達の学習環境を考えたときに、これから、例えば１０年後のデータを示していますが、今後人吉市の小学校がどういうふうになっていくというイメージを踏まえたところが必要だと思っています。そしてそれに行きつくために、例えば段階的にこうした方がいい

とか、そういったご意見もあるのではないかと思っているところです。

委　　員　昨日未就学児の保護者との意見交換会で、通学距離は気にはなるけれども、子どもの学ぶ環境や質を考えると、地域の活力がどうこうではなく、子どもが「この学校で学んでよかった」と思うような、どっちも取りたいけれども、という保護者の複雑な思いが伝わってきました。それを考えると大畑小だけの話ではないと私は思っていて、個人的にはパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】だと思います。私が今まで考えていたパターンで行くと、今ある学校を組み合わせたものしか考えられないんですよね。例えば、人吉で２校にするとしたら東小、東間小、大畑小を一つの学校にしたとして、令和１４年度には６年生が３クラス、５年生が２クラス、４年生が３クラス、３年生が２クラスというのは見える。同じように人吉西小、西瀬小、中原小を一つの学校で合わせたら、全学年３クラスの学校ができる。ただブロックで考えたら、例えば人吉市でいえば川南と川北という言い方をしたり、西と東と言ったり、旧村だったりと住んでいる人々の割合が全然わからなくて、わたしは子どもが人吉東小学校に通っているのですが、人吉東小学校でも圧倒的に多いのは人吉インター周辺の鬼木町・願成寺町の子達です。美化作業等をＰＴＡで行う際も願成寺の人達が参加しなければ活動できないぐらい人数に差がある。どう組み合わせるかというところ、居住地ごとのある程度の子どもの割合もないと全くイメージがつかず、パターンＤが現実的だと思うけれども、ほぼ川北ブロックだけで全部の学校が出来て、川南は小さい学校になるならば結局また再編の話になってしまう。ならばその辺の住居地域のデータもないと考えづらいし、組んでみたけど偏ったのでまた会議、というのはできるだけ避けたいです。ただ個人的にはパターンＤを進める、みんなで負担を考えて、みんなで学校がなくなった後のコミュニティをどうするかというところも含めて意見を出していかなければいけないと思います。

八幡　委員長　全市上げて、これからの教育を考えるうえで、という意見だったと思います。

委　　員　昨日の未就学の保護者向け意見交換会、すごくたくさん集まって意見が出たと思うのですが、興味がある人、熱い人達ばかりだと思います。ＰＴＡも同じですが、一般会員の保護者の中には興味がない人達がたくさんいます。以前の会議でも発言したのですが、なるべくたくさんの人に知ってほしいという思いがあります。私は下の子が中２なのでもう全く関係はない、関心はありますが、大畑と東間が一緒になろうが構わないのですが、今からの人たちの意見を聞いたり、今はこうなっていると周知を徹底して、毎年ずっと総会にいって説明する。部活動移行の時でもあんなに大変だったので、子どもや保護者の反応、学校再編となった時に困らないように説明会等の機会をどんどん増やしてほしいと思います。あと、分けるなら人吉東小と人吉西小、東間小と大畑小、中原小と西瀬小、人吉町と藍田村と中原でちょうどいいのではないか。

八幡　委員長　そのあたりのグループ分けは。

委　　員　昔の村です。人吉市の合併前ですね。

委　　員　そうは言いつつも、最終的には１校になると思います。小学校１校、中学校１校し

か残らない。２０年後になれば人吉だけで考えずに、人吉、錦、球磨村全部で考えていかないと、１０年後、またこの会議をしないといけなくなる。その繰り返しになります、はっきり言って。

委　　員　近隣の自治体で進んでいるのは危機感があるし現状を把握していて、すでに統廃合の準備に入っているところ、校舎を作っているところ、今論議している小学校を１校にしましょうとやっているところはもう見えているから、それをするしかない。中学校は１校になっているから。人吉の場合を考えた時に、時間的空間を持ちすぎて話が進まないで、小学校と中学校が同時にスタートできないならどちらかを先にした方がいいのではないか。これまでの論議からすると、教育環境を整えるということで中学校は１校にできそうな雰囲気だからどんと構えながら、あとは小学校低学年の小さい子達のことを考えながら徐々に進めていく、将来的には１校かもしれないけれどもそれまでに進めながら問題を解決していくしかない。小学校の場合はそれの繰り返しになるのではないか。まずは中学校を１校にする準備に取り掛かって、小学校も追いかける形でしていった方がいいような気がします。昨日の保護者の気持ちはよくわかります。教育環境を整えてあげないと親として、残念な思い、子どもに悪いなという気持ちがあるからたくさん意見があったようですが、その思いともう一つは子どもの通学の方法や手段が少々置き去りになっている気がします。保育園は送り迎えをするのが当たり前という保護者も多いと思いますが、小学校は基本的には自力登校です。けれども今は子ども達も忙しく習い事があって朝から起きられない子ども達が多くて集団登校が出来ず親が送るようになり、それが当たり前になっている。でもそれは異常ですよね。しかし遠距離通学になったら親の負担を増やすことはあってはいけないのでスクールバスなど準備に時間がかかるので、私はまず中学校を先にスタートさせて小学校はどのパターンかで進めていくという答申がいいのではないかと思います。前回は中学校で今日は小学校ですが、もうそろそろどっちを先にしてどちらが追いかけてという論議を進めていかないといけないのではないか。時間的なものも見えないしどう論議したらいいのか、１０年後、２０年後の話かということではないんですよね。時間は待ってくれないので、まずは中学校から解決していった方がいいのでは。

八幡　委員長　先に結論が出ている中学校から、できるところから走らせた方がいいのではというご意見でした。

委　　員　まだ５つのパターンの中から決めかねているところですが、あればいいなと思った数字があって、一つがそれぞれの案を採用した時に先生一人当たり子どもを何人見ることになるのか。それぞれの規模で加配などの先生の数は変わると思うので数を設定しないと出て来ないと思いますが、教育の質を高めてほしいという意見があった中では先生一人当たりにできるだけ少人数の子どもを見てほしいというところです。あと一つは費用対効果の話で、子ども一人当たりにいくらのお金を使うのかというところが、多い方だときりがない話になるので、その二つの要素を組み合わせてそれぞれのプランを見ていけばどれがベストか、人吉ならではの状況を加味しながら判断できる

のではと思います。そういった数値があればありがたいです。

志波　教育長　できるとは思いますが、定数との関係でしか出せません。また、教師一人当たりの子どもの数を考えると小規模校が有利なのは見えています。

委　　員　わかっています。費用対効果を見ると小規模校は効率が悪いとわかっているので、あくまでも将来人吉市はどうなるのかを正確にではなく、国が定めているモデルに従った時に、適正規模と小規模と大規模と分校という形をとった時にどのようになるのかがざっくりでいいのでわかれば、と。

志波　委員長　単純に、児童生徒数はある程度の人数が出ているので、それから学級数、支援学級も全部含めたところの数ですが、定数から数値を出すことは可能かと思います。

委　　員　正確な数字というよりも、一般的なモデルに当てはめるとこういう形になり、このような傾向にあります、ということがある程度わかればいいのですが。

志波　教育長　すみません、その数値を示すことで何が見えるということでしょうか。

委　　員　せっかくお金を使ってすることなので、教育の質が効果的に上がるのはどれかという指標としてそれもありなのかなと思いました。子どもにとっての教育の質をどう引き上げていくかと考えた時にですね。

志波　教育長　先生一人当たりの児童生徒数を出すことで教育の質を…。

委　　員　二つとも合わせてです。連立方程式で考えていきたいと思っているので、児童生徒数だけでいえば小規模校の方がいいという結論に決まっているのですが、私はそう思ってないので、費用対効果の話になって、結局コストが倍かかれば意味がない。でも今言いながらそれを出してどう見るのかも難しいなと思いました。

志波　教育長　数値としてはある程度は出せると思います。

八幡　委員長　初めに大畑小学校、第三中学校のＰＴＡの方から発言していただいてパターンＡ【対象校のみ近隣校へ統合（１校減・５校体制)】、パターンＢ【段階的統合①（猶予期間の設置)】に関する発言だったのですが、それだけにはとどまらない人吉市全域のあるべき教育の姿というところでパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】という意見がそのあと続きました。ただそれをどう区分けするかというところが難しいという意見でした。

委　　員　中学校をやるにしても小学校もある程度考えていかないといけない、方針としてはパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】が理想的だなと思います。ただ直前の大きな問題として、私は大畑校区なのですが、大畑小学校はとりあえずパターンＡ【対象校のみ近隣校へ統合（１校減・５校体制)】にして５校で存続させておく。猶予期間とあるのですが、これは準備期間のことですよね。だって猶予する必要はないので。準備して整いさえすれば実行するだけなので。先ほどパターンＤにしても、どう分けるかが難しいという話がありましたが、それはここで考える必要はないのではと思います。教育長も言われた通り、どのような方向にもっていくかを考えるのがこの検討委員会なので、どうやって運ぶかは先ほどおっしゃったように準備期間で決めていくことだと思います。そんなに細かいところまで考えていくとなると頭も

ついていかないので、そこまで考える必要はないのではと思います。

八幡　委員長　ゆくゆくはもちろん全体の問題ということでパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】になるだろうと思うのですが、現に複式学級が生じている大畑小学校、早急にその状況を優先的に解決したいと思っているのかどうかというところですよね。今後の段階的なというところで。私は委員を引き受けさせていただくときに大畑校区まで車で行ったのですが、やはり遠いなと思いました。一中校区、二中校区の川沿いの学校とはかなり離れていて、それをどこかに合わせるというと負担が大きいのはここだろうなと思ったので、率直なご意見、できるだけ早急に複式学級を解消したいということであればパターンＡとなるし、でも遠くに子どもを送る手間暇を考えると不便感などについても意見を出していただきたいと思うのですが。

委　　員　大畑が行くのではなく大畑に来ればいいのでは。逆のパターンでもいいのでは。

八幡　委員長　斬新なご意見が出ています。いかがでしょうか。

安達副委員長　５つのパターンのうち間違いなくこれは難しいのではと思ったのはパターンＣ【段階的統合②（分校化）】です。低学年は現在の学校（通い慣れた地元の校舎）に通学し、中学年以降から統合校へ移行する、とのことですが低学年と高学年が分かれてというのは無理ですよね。どう考えても無理なので、パターンＣは外れると思います。それとパターンＡ【対象校のみ近隣校へ統合（１校減・５校体制）】とパターンＥ【完全現状維持または猶予期間の設置】の場合はちょっと猶予をもってあとでパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】を目指すというものですが、私は段階を置くと二重に手間がかかるような気がします。結局統合しないといけない時になればまたそこで話し合いが必要になる、１からのスタートになるのではないかと思います。それならはっきり、ＤならＤで何年後かはわかりませんが、来年度や再来年度の話ではないと思いますし、どっちにしろ５年後、早くても４年後より先の話なので、中学校の場合には例えば１校として、小学校の場合にはパターンＢ【段階的統合①（猶予期間の設置）】あたりでしたらどうでしょうか、という方向であり方検討委員会ではなるのかなとは思っています。そこが落ち着けばあとは教育委員会や準備委員会の話になると思うので、何年後に中学校が統合するとなってから逆算していろいろと決めていくのかなと思うので、まずは猶予期間というよりもはっきりと決めた方がいいのかなと思います。

委　　員　いいと思います。もう２０年後には１校にしますとか決めたらいい。そうしないとこの会議でずっと終わってしまうから。どんと教育委員会が決めてくれた方が早いと思う。

委　　員　再編しても１学年１クラスだったらあんまり意味がないので、通学負担があっても複数学級が実現できるようなことを答申後に実現してもらえたらありがたいです。

八幡　委員長　やはり皆さん、将来は小学校も１校というところも視野に置いているということでしょうか。

委　　員　それはどうだろうか。

八幡　委員長　ちょっと厳しい気もします。

委　　員　１校になった時はこんな感じ、２校だとこうなるでしょう、とある程度イメージしやすいたたき台があれば意見が出しやすいのでは。なんとなくふわっと話したまま１校でと言われても何とも言えないです。

委　　員　小学校は上げなくていいのではないですか。パターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】の全体を見据えて、再編をするとしておいた方がいいと思う。

委　　員　一般論として、適正規模に将来は合わせていくのが当然だろうとは思います。

八幡　委員長　と言いますと、これからの子ども達の数に応じて、学校の規模や数を対応させていくという形で今後の方向性を考える、ということでよろしいでしょうか。

委　　員　大畑小と東間小を合併させて、西瀬と中原もとなると大変だから、いったんまっさらにして区分けをちゃんと考えていく、そこはこれからの子どもの数などを考えてという形をとった方がいいと言われていたので、そこを目指すということで。いったんは現状維持ではないですが、一気にはできないからですね。じゃあ再来年から合併しますとはできないので、そこを目指してやってくださいという答申の方が多分進みやすいのではないか。それを求められているのではないかと思っています。

委　　員　昨日の保護者の意見の中で、１０年後乗り切る方針ではなく思い切った大転換、といった意見もありました。目指すはパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】だと思うのですが、この準備期間を過ごす子ども達もいます。少なくなっていく中ではありますが、そういった子ども達のために、例えば行事や運動会など少しずつ一緒にやっていく行事を増やしながら、保護者もそれを経験することで、こうなっていくんだな、こんなイメージなんだなとわかってくると思うので、準備をしながら一緒にカリキュラムをやれるようになったら見えてくるのではないかなと、準備期間を過ごす子ども達のことも考えていけたらと思います。

５　本日の総括（委員長）

八幡　委員長　先ほど安達先生がおっしゃったように、本来この会議で目指すところはパターンＤ【将来的には小規模化が見込まれるので市内を校区のあり方も含めて再編する】というところでまとめさせていただき、再編のあり方については今後、猶予期間の活動なども踏まえて少し検討の時間を設ける、ということでいかがでしょうか。

委　　員　今の話とは別件です。前回の会議の時、田中部長のお話で気になっていたことがありました。人吉の文化ゾーンの中に学校をというところで、学校と文化・スポーツ施設が併設するならば、互いの催し物が重なった時のことを重々考えていただきたいということです。人吉の大事な文化ゾーンであるということ、学校の教育機関、施設がゾーンの中で重なってどっちも思うように行事が開催できないとならないように、当然考えられるとは思いますが、この前聞いた時にどうしても頭に残ったので、そこらへんも気にして構想を練っていただければと思います。

田中　　部長	あくまでもこの前お伝えしたのは例の話なので、何も決まった話ではありません。中学校を１校にした時に新設するというお話だったので、そういった例もありますよね、という話の流れだったことをご理解いただければと思います。
志波　教育長	言葉の確認なのですが、今小学校が６校あり、例えば３つにするとした時に、２つずつをくっつけて３校にすることに統合という言葉を使うとします。６校を３校にするときに、校区をばらして組み直すことに再編という言葉を使うとした時に、どちらが近いでしょうか。
委　　員	再編。
委　　員	再編、ですかね。
志波　教育長	再編のお気持ちが近いということですね。町内会や消防団、コミセンなどの関係も出てくると思うのですが、再編というイメージが強いというところですね。
委　　員	再編という意識じゃないと、結局消防団も足りなくなるので。校区でやっても足りないんですよ。消防団も再編していかないといけないと思っています。
志波　教育長	現在町内会の方でもそういった動きが出てきているので、そこらへんとの関連性も出てくるというところですね。わかりました。
八幡　委員長	本日二つ目の議題、今後の小学校の方向性としてはパターンＤ【市全体を見据えた複数校のブロック再編】、今後の人吉市の子ども達の人口減少を見据えたものだろうということでまとめさせていただいてよろしいでしょうか、はい、ありがとうございました。 引き続き答申のとりまとめまで、皆様にはもうしばらくお時間をいただきたいと思います。
鵜口学教課長	長時間にわたる議論、ありがとうございました。事務局より一つ確認させていただきます。学校選択制の導入と不登校特例校の設置、義務教育学校の設置は本委員会では見送るということでよろしいでしょうか。あと、中学校は１校に統合するけれども、１校に統合するまでに相当な準備期間が必要になると思われるので、先に第三中学校を第一中学校に統合した方がいいというご意見だったと思うのですが、それで間違いないでしょうか。
委　　員	中学校は１校ですよね。
鵜口学教課長	はい。ですが何年かかかるので、その前に三中を一中に統合した方がいいというご意見だったと思うのですが。
委　　員	前回の会議に参加しましたが、それはやらざるを得ないのではないかという話だったとは思うのですが、必ず間を挟むという話にはならず、必要に応じてそういった手もあるという雰囲気だったと思うのですが。
鵜口学教課長	中学校は１校にするという結論でよろしいですか。先に第三中学校をどうにかするということの答申ではない、と。
委　　員	そうですね。
委　　員	すみません、私のメモでは、まず第三中学校を一中に、となっているのですが。

鵜口学教課長	はい、私もそのようにメモを取っています。
委　　員	私はメモを取っておりませんが、どっちでも取れるような話だったと思います。
鵜口学教課長	前回の結論としては、早急に段階的統合、第三中学校を第一中学校に統合しておいて将来的に１校にするとメモを取っています。
八幡　委員長	私の記憶では、基本は１校なのですが付帯事項として２校、途中でも２校という意見も出たとは思うのですが、結論としては１校だったと思います。特に三中を先に、というのは結論には入らなかったような。
委　　員	話の流れではあった気がします。人数が少なくなるので先に一中に統合した方が学びの場や人間関係も育つという意味合いではと思っています。でも今回のパターンD【市全体を見据えた複数校のブロック再編】があるなら、そっちに合わせた方が普通かなと思います。先を見据えた案で、最終的には１校だから小学校、必ずしも２段階を経てするのは厳しいよね、手間もかかるよね、となるならば再編案で一本にする形にしておいて小学校もブロックで分けるとした方が話はスムーズではないかなと。ただ、保護者や子ども達が望めばやってもいいのではとは思いますが、それはこの場で話すべきことではないと思います。
委　　員	全員一人残らず、納得すればいいですが。
委　　員	私のメモでは、三中を一中に統合して、最終的に１校を目指す、と。ただ早急にということではなく、とりあえず三中は一中に統合しておいて１校を目指すという話だったと思います。
委　　員	中学校と小学校をそれぞれ話すとこうなってしまう。小学校がこの流れで行くならば中学校はこういう話だったけどこっちがいいよねと変わる場合もあるかもしれない。全部切り分けて話をすると組み合わせる時にうまくつながらないのはよくある話なので、その辺が原因かなと思いました。
八幡　委員長	中学校は中学校、今日は小学校ということで話を分けて進めてきたところですが、小学校が２校くらい、ということであれば中学校のあり方も変わるという委員の方はいらっしゃいますか。
委　　員	今ここで決まるのでしょうか。
委　　員	ならば決められないですよね。
八幡　委員長	実際に今小学校が何校になるかわからない段階なので、中学校は１校でいい、という方向性が揺らいでいるわけではない、と。
委　　員	方向性を出していくのはいいけれども、今日は随分都合で欠席の方がいらっしゃいます。その方々の思いは、中学校は１校、今のところ小学校は現状のままで解決策を考えていこう、というのが今日欠席の人達です。今のままだと、次回来られた時に「え、そんな話になったの」となりそうな気がします。なのでまず中学校は１校で行くというスタイルはそのままにしておく。三中が途中で一中に、という論議は一旦置いて。小学校は現状維持だけれども将来的には難しいから再編の方に進まないといけないのでは、というのが今日の論議だったと今日欠席の方に伝えるようにしたい。そ

の方がいいのではないかと思います。

委　　員　　私から提案で、全部出そろった時に並べてみて、どうやったって組み合わせが悪いものがあったらその時にしっかりと話をするべきだと思います。それぞれ話したけどかみ合わせ悪いよね、と。合うかどうかは見て見ないと。

委　　員　　それはいらないのではないですか。答申だから。

委　　員　　もう１校でいいのでは。

委　　員　　小学校は小学校でどういう形で考えていくのか、中学校は中学校でどう考えていくのかは、組み合わせがどうこうということではそもそもないのではと思います。

委　　員　　組み合わせ、校区の話ではなく、例えば中学校を１校にしていく中で状況によって２校にしてから１校にするという話はありました。それと小学校をどのように再編するのか、今あるものを合併の形にするのかいろんな選択肢があって、小学校の形を選択肢していく中で同時に動いていく話になるのか、小学校を先にやる、中学校を先にやるというところは後で調整すると思いますが、それぞればらばらに話しているのが違うなと思いました。

委　　員　　私はできるところからすればいいと思います。

委　　員　　そこは賛成です。そこは反対していないです。やれるところからやった方がいいとは思います。

委　　員　　はい、私の疑問は解決しました。前回は町内会長の仕事で中座したので、結論を聞いていませんでした。今聞いたらまとめの段階で三中が一中と一緒になるところがあってもいいよね、という論議があったようでした。失礼しました。目標は１校ですよね。場合によっては途中で一緒になることがあってもいいとは思いますが、答申だから、答申する時に将来中学校は１校にするというスタイルだけで、その途中はまた準備委員会にお願いする形でいいのではないか。小学校の方は次回、今日欠席の方がいらっしゃる中で、将来的にブロックを再編しながらやっていくという道筋で合意を得た方がいいのではないかと思います。

八幡　委員長　　ありがとうございました。素晴らしいまとめをいただきましたので、その方向でまとめて記録を残していただければと思います。

委　　員　　前回、何故一中と三中が一緒になる話になったかというと、令和２０年度に第三中学校で複式学級が発生し教員数が半減するという話からそういった話になったと思います。なのでスケジュール感はとても大切で、中学校が１つにまとまるのが令和２０年度よりも後になるのであれば、私は三中は一中と一緒にならなければならないと思いますが、１校になるのが令和２０年度までに実現可能であれば、三中と一中が一緒になる必要はないと今お話を聞きながら思いました。そういったところも含めた答申にしておかないと、ここで話し合ったことがきちっとアウトプットされる必要があるのかなと思ったところです。スケジュール感というのも微妙なところになってくるかなと思いました。

委　　員　　１０年ぐらいを目途に１校にするようなスパンで考えて。

委　　員　　建ってしまえば問題ない。建ってしまえば。間に合いそうでなければ三中は一中に行かないといけないと思う。

委　　員　　中学校で複式学級が発生すると教員が減っていくつも専門外の教科を担当することになる、教育が行き届かなくなる、行き詰ってくる。教育の質の低下という話だったですね。

委　　員　　そうです。

委　　員　　委員が言われたようにスケジュール感ですね。そういう環境にならないうちにやってしまわないと。

八幡　委員長　　今後、中学校について動き始めるのが最速でも３年ぐらいはかかるだろうというお話だったので、だったら１校で、というのが最後の方の話だったかと思います。スケジュールにもよる、というところですね。切実なのは複式学級のある、またはそうなる可能性のある学校だと思うので、そのあたりは最善の教育環境を整えられるような途中過程、猶予期間のあり方が望まれるというところですね。

６　その他

杉本　　係長　　**（１）次回開催日（予定）　令和８年１２月２１日（月）午後２時００分～**
保健センター２階大会議室

鵜口学教課長　　次回の１２月２１日は、答申書の素案の検討になります。本日ご欠席の委員の皆様にも今日の小学校の結論の部分まで入れたところでの素案の提示となります。ですがあくまでも素案なので、また１２月２１日にいろんな意見をいただいたうえで修正をかけていきたいと思います。

７　閉　会

杉本　　係長　　それでは、これをもちまして第８回人吉市立学校のあり方検討委員会を終了いたします。本日はご参加ありがとうございました。

＜　　午後４時１０分　　閉会　　＞